

# 建材 マンスリー

No.633

7

JULY  
2018

特集

## 軽くて強いCLT 普及への動きが加速

好木心

木格子が美しい  
静岡県富士山世界遺産センター

注目企業を訪ねる

株式会社伍魚福





# 軽くて強いCLT 普及への動きが加速

1990年代から欧州で普及が始まったCLT\*1。

日本ではCLTのJASが制定された2013年に、高知県で初めてCLTを利用した社員寮が建築され、2018年3月までにおよそ200のCLT物件が建築されている。

2015年には、高知県知事や岡山県真庭市長を中心にCLTで地方創生を実現する首長連合が設立され、2016年には議員連盟も設立。林業再生が地方創生の一丁目一番地と位置づけられ、次々に施策が打たれている状況だ。

このような施策を背景に物件数が増加しているCLTは、日本の建築用資材として定着していくのか。CLTの最前線を取材し、具体的な取り組みや将来展望を探った。



## 住宅・非住宅ともに CLT物件が増加中

日本で2013年に初めて建築されたCLT物件は、その数が毎年倍近く増加し続け、2017年度までの竣工済み合計は182件。そのうち2017年度内の物件数は84件に達し、普及は着実に進んでいる状況です。物件は、集合住宅や社員寮等も含む住宅、医療施設や社会福祉施設、学校や店舗、事務所と様々です。最も新しい物件としては、高知県高知市で2018年4月に竣工したサービス付き高齢者向け住宅「はるのガーデン」が挙げられます。1、2階がRC造、3〜6階が木造で、CLTは壁に用いられています。使用したCLTはおよそ319㎡。水平構面はCLTではなくヒノキ集成材の梁・桁を設けた在来軸組工法とし、床全体にCLTを使用する場合に比べてコストダウンを実現しています。6階建ての主要構造部にCLTを用いた建築物は国内初です(写真1)。

CLTパネル工法で国内最大(2018年3月現在)となっているのが、福島県いわき市で今年2月に完成した木造3階建て57戸の復興公



一般社団法人 日本CLT協会  
業務推進部長  
中島 洋氏

営住宅です。床や壁、屋根などの主要部分に199.5㎡のCLTを使い、壁は現しとなっています。CLTは鉄筋コンクリートと比べて断熱性に優れ、冷暖房費の節約にもつながります。さらに施工性がよく工期が短くてすむという特徴があり、スピードが求められる復興公営住宅の建築には非常に適した建材といえます。同規模の共同住宅をRCで造るとおよそ1年の工期が必要ですが、CLTを使った場合の工期は5.5カ月と、半分に短縮されています(写真2)。

岡山県真庭市では、CLT構造を主体としながら、大断面集成材によるラーメン架構を採用することで大空間を実現する、真庭市立北房こども園が2018年3月に竣工しました。地域の小学校や幼稚園を同一敷地内に合築\*2する整備事業で、大空間となる遊戯室や保育室をはじめ、教育施設の様々な室機能と用途におけるCLTの活用モデルになるとして注目されています(写真3)。

さらにCLTは、2020年の東京オリンピック・パラリンピック選手村の主要施設であるビレッジプラザにも採用が決まっています。選手のための各種店舗のほか、メディアセンターも配置され、延べ床面積およそ6000㎡となる平屋建ての大規模施設ですが、工場で大型パネルを製造するCLTを使えば工期短縮や作業員の削減も可能です。大会後は解体し、パネルは各自自治体の公共施設などで活用される予定となっています。

## 習熟度別の講習会や 設計支援事業も実施

2016年、CLTを用いた建築物の一般的な設計法等に関して、建築基準法に基づく告示が施行され、告示に基づく構造計算等を行うことにより大臣認定を個別に受けることなく建築ができるようになっていきました。しかし、CLTに興味はあるものの、どこから手を付けていいかわからない、あるいは独自に勉強する時間的余裕がないという構造設計者

も少なくありません。そこで当協会では、CLTに関する習熟度別に、「初めてのCLT入門編」と「構造計算ルート1編」という2種類のプログラムを用意し、2カ月に一度の講習会を開催しています。各回の定員は20人と少人数制ですが、質疑応答も活発に行われ、受講生によるCLT物件着工にも直結しています。

また、CLTによる建築を計画している設計者や行政などを対象とした、企画・設計支援事業も開始しています。当協会に専用窓口を設け、CLTの特徴や関連告示の説明から、CLTの活用方法、CLTを現わして用いる場合の注意点など様々な疑問に対応し、相談内容をヒアリングしたのちにアドバイザーを派遣するという支援を行っています。

CLT普及のためには、建材としての認知度を上げることが設計者を増やすことが重要であり、物件数が増えることがコストダウンへの近道にもなります。2015年からは毎年「CLTアイデアコンテスト」を開催し、これまで木造を手掛けたことがなかった、あるいは非住宅の大型施設を中心に手掛けてきた設計事務所等への宣伝にもつなげています。

今後は、当協会でもCLTに関する技術開発に力を入れていきたいと考えています。すでに協会会員により、遮音や耐火、施工合理化等のワーキンググループを開催しており、会員の知見を生かして技術研究開発を行っています。

CLTは寸法精度が高く、他の素材とも合いやすいという特徴があり、ハイブリッド構造で用いるなど普及拡大の道は様々考えられます。日本におけるCLTはJASで規格が統一されているので、決して扱いにくい建材ではありません。欧州のCLTはこれまで規格がバラバラでしたが、今後は統一していくという動きもあるようです。ぜひ多くの方にCLTを活用していただけるよう、きめ細かな支援を行っていききたいと思います。

写真1. 「はるのガーデン」



写真提供：高橋設計

写真2. 「いわき CLT 復興公営住宅」



写真撮影：Nacasa & Partners

写真3. 「真庭市立北房こども園」  
の遊戯室



写真提供：真庭市

\*1 CLT：Cross Laminated Timberの略。ひき板（ラミナ）を繊維方向が層ごとに直角に交わるように貼り合わせた大版の木質パネル建材

\*2 利用目的の異なる公共施設を複合化すること



# CLTを床材に使用した 日本初の高層建築物

——三菱地所株式会社

総合ディベロッパーの三菱地所は、CLTを床材として使った日本で初めての高層マンションを建設中だ。コスト低減、工期短縮を実現するため高層建築物の木造化に取り組み「CLTユニット」のリーダーに、プロジェクトの目指すところを聞いた。

## 10階建て高層マンションの床と耐震壁にCLTを使用

総合ディベロッパーの三菱地所は、高層建築物の床材にCLTを使用した（仮称）泉区高森2丁目プロジェクト（仙台市）の新築工事を着工した。同プロジェクトは仙台市泉区のニュータウン「泉パークタウン」内で建設が進められている10階建て賃貸マンション（総戸数39戸）で、竣工は2019年2月下旬を予定している。建物は国土交通大臣認定を取得した「CLT耐火床システム（2時間

図1. 外観完成予想CG



耐火仕様」の採用のほか、CLTを耐震壁としても使用。また、施工に当たる竹中工務店開発の耐火集成材「燃エンウッド®（2時間耐火）」を柱に採用するなど、木造と鉄骨造のハイブリッド構造となっている。高層建築物にCLTを使用した経緯について、CLTユニットリーダーの伊藤康敬氏は次のように語る。

「ツーバイフォーを扱う弊社木材関連会社の将来を考え、同じ木材素材であるCLT利用のイニシアティブを、現時点で取っておきたいという考えがありました。また、SRCの工費が非常に高くなってきているので、木造の可能性を探ることでコストダウンにつなげたいという思いもあります。一昨年、会社に対しCLT利用の新事業提案を行い、そ

れが承認されて専門部署の『CLTユニット』が立ち上がりました。CLTを使うことで工事費の低減、工期短縮などができるかどうかの検証を3年から5年くらいかけて行っています。今回はその見極めの最初のプロジェクトとなります」

CLTに着目したのは、軽いのに強く、また施工期間が短くてすむというメリットがあるからだ。軽ければ基礎工事が少なくて済み、また乾式なのでコンクリートに比べて工期が短縮できる。当然、その分コストも低くなる。

## 木造化しないフロアを造りCLT使用との比較検証を行う

林野庁・国交省補助事業\*1に採択された今回のプロジェクトでは、設計と施工に関して各種の検証が行われる。

例えば2時間耐火仕様のCLT床は、耐火性能を確保するためCLT床パネルを強化石膏ボード（下面）と石膏系のSLプラスター（上面）

ではさんであり、通常のコンクリートスラブより、工事の省力化、工期の短縮化が可能とされる。この2時間耐火仕様は、実建物では国内初の適用となる。また、CLT床パネルの上にトップコンクリートを組み合わせることで、重量床衝撃音を低減・抑制している（図2）。

さらにCLTを鉄骨造架構内での耐震壁として使用し、耐震性能をアップした設計となっている。CLT耐震壁の下端は凹凸状に加工したコッター部\*2にコンクリートを流し込んでRC造床と一体化することで、また上端は固定用鉄骨ブロックとドリフトピンによって、それぞれ荷重を伝達させる（図3）。



三菱地所株式会社  
住宅業務企画部  
CLTユニット 主事  
海老澤 渉氏

海老澤 渉氏



三菱地所株式会社  
住宅業務企画部 兼 新事業創造部  
CLTユニット ユニットリーダー  
伊藤 康敬氏

伊藤 康敬氏

造材として使用されている。ただしすべてのフロアがCLT仕様ではなく、CLTスラブは4〜10階、CLT耐震壁は1〜5階のみに採用。木造化しないフロアとの比較検証を行う。

## 超高層建築物にも使えるCLTの可能性を探る

構造の技術担当を務める海老澤氏は、「今回の検証は、より高層の建築物にCLTを適用するためには欠かせないものとなるでしょう」と次のように述べる。

「CLT床材の使用実績は少しずつ積み上がっていますが、大型マンションのようなケースでは、まだどこも手をつけていません。そこでRC床がベースの階を3フロア造り、CLTとRCの性能や居住性の違い、CLTの特性などを検証します。ま

た、大型建築物でCLT耐震壁はどれくらい地震力を負担できるかなどを検証して、安全とコストのバランスを適切に取れる設計の係数など、今後、超高層建築物にも使える技術を探っていきます」

今回は柱にも耐火集成材の「燃エンウッド®」（図4）を2〜10階の平面上4部屋のうち2部屋に採用。この検証には安全性だけでなく、現しにした木の付加価値を試すという意図も含まれている。

「柱を現しにした部屋と、鉄骨の間柱の部屋を造り、住む人たちにどうして居住性などが違ってくるかなど、木の持つ付加価値について調べてみたいと思っています。また、高層建築物で木の柱を使うことが、構造的にどのくらいハードルが高いのかなども検証の一つです。垂直に立つ柱

は長期の荷重がかかると、クリープ現象で時間と共に素材が縮んでいきます。その縮みの影響を高層建築物ではどう解消するかなどを、まずは今回10層の建物で検証します。

私どもは大規模開発がメインの不動産会社なので、高層・超高層の建築物で使える技術を把握することが必須事項です。また工期とコストの最適なバランスを取ることが大切で、そのためCLTや集成材の可能性を探っていくたいと思っています」（海老澤氏）

## 厳しい耐火基準の緩和実現でコストダウンが期待できる

高層建築物にCLTなどの木材を利用することで、工事費の低減を図ることも、今回の検証の一つとなっている。現状では普及の前段階にあるCLTはどうしてもコスト高になりがちだが、実証を繰り返すことでコストダウンは期待できる。

「耐火構造になるとCLTは強化石膏ボードを張らなくてはなりません。その費用と職人さんへの工賃がかなりコストを上げます。製造単価もまだ下がっていないこと、初めての取り組みということで施工側の手戻りなどが加算され、全体的にコストが高く

なっていることは事実です。しかしコストダウンにとつて一番高いハードルは、耐火構造などの法規制ではないかと考えています」と、海老澤氏は耐火構造のコスト高を課題にしている。

例えば海外の耐火基準の多くは、日本の準耐火構造の考え方で作られている。人の避難を重視し、火災で建物が倒壊しないという点にはあまり重きを置かない。木造住宅密集地域での家屋倒壊は避けなくてはならないが、条件によっては法規制の緩和も考える余地がある。

「再開発が進んで大型ビルだけが建っている所などは、もう少し別な視点で考えられないかと思っています。そうした所が変わっていけば、高層建築はCLTで造った方が早く安くできるといわれる未来が見えてきそうです。CLTの普及には、耐火や内装制限などの規制緩和という後押しがぜひ必要ではないでしょうか」（伊藤氏）

規制緩和はCLTによる木材産業振興のためにも必要性が高い。三菱地所では、検証のため今後も新たな建設を計画し、すでに昨年末に林野庁と国交省の補助事業募集に案件を提出している。

図2. 2時間耐火CLT床の仕様(断面図)

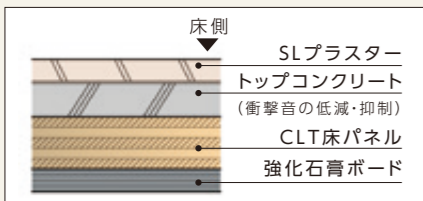


図3. CLT耐震壁の仕様(断面図)

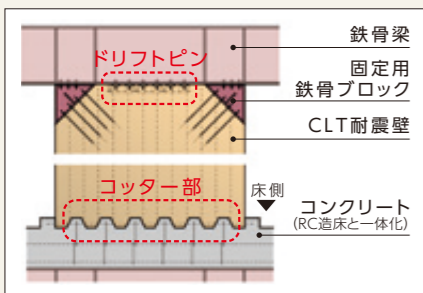
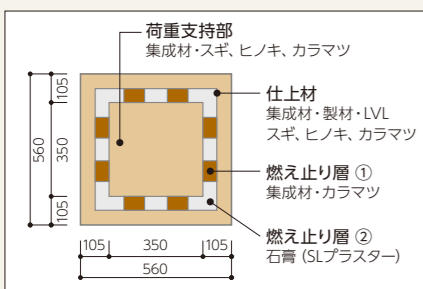


図4. 2時間耐火「燃エンウッド®」(断面図)



図版提供＝株式会社竹中工務店

\* 2 壁などの部材とコンクリートなどの床をつなぐ接合部のこと

\* 1 林野庁・国土交通省補助事業採択

設計：林野庁平成28年度「CLT建築物等普及促進事業のうち協議会が取り組む実証的建築物支援事業」  
施工：国土交通省平成29年度「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」

# 適材適所の利用でCLT普及を後押し

7階建てCLT集合住宅プロジェクト（ロンドン）に携わった経験を踏まえ、CLTの可能性と今後の発展について、**京都大学大学院工学研究科助教の小見山陽介氏に語っていただいた。**

**軽く、施工性も高い  
短い工期も魅力**

建築素材としてCLTの優れた点は、まず広くて厚い面材なので部品数が少なく、壁・床によるシンプルな架構が可能なことです。その上軽くして施工性がよく、工期も短くできます。ロンドンの集合住宅「キングスゲート・ハウス」は、既存の基礎と1階床を再利用するため上物が軽いこと、また周辺住民への配慮から工期が短いことが要求され、CLTの採用となりました。

CLTは断熱性や蓄熱性、調湿性、



榛名神社奉納額収蔵庫



キングスゲート・ハウス



上野村木造モデルトイレ

遮炎性がある程度満たすことができ、そのまま仕上げ材にもなります。その特性は「榛名神社奉納額収蔵庫」（群馬県）で存分に発揮されています。収蔵庫はCLTの断熱性能と調湿調湿性能を生かすため内装を現しにし、室内環境の安定性を求めました。外壁は耐久性を考え檜を張っています。

軒を深く出し、一枚のパネルを兼用し、内外を現しとしたのが「上野村木造モデルトイレ」（群馬県）で、厚さ36mmの薄いCLTパネルを在来工法の構造用面材として使用しています。特殊な工具、金物、施工が不要でCLTを使いやすくした工法です。

高コストが普及に影響  
ハイブリッドに期待

魅力ある素材にもかかわらず普及速度が遅い理由として、いくつかの問題点が指摘されています。

構造設計者によると、「CLTパネル工法」には独自のガイドラインがあり、使いづらさということがあります。LVLや集成材は「材料」として木造で構造計算できる告示があります。CLTは「工法」とセットです。そのため厚い解説書を何冊も読まなくてはならず、「構造計算が面倒だ」となります。

意匠設計者がCLT使用に二の足を踏む最大の理由は、設計の難しさより価格だと思えます。見積もってみるとんでもない額になり、諦める例がとんでもない。CLTの材料費が高いだけではなく、基準となる工事がまだ存在しないことも原因の一つだと思えます。金物は標準化されていますが、数が出ないため注文生産です。そして施工時の不確定要素などで、どうしても工費が嵩上げされ、高めになるのです。

CLTは、技術開発の実験ステージにありながら、同時並行で普及させるというフェーズも進んでいる特殊な例です。技術が完成し、大量生産

の段階で普及に入るのはないところに難しさがありますが、逆にだからこそ自分のような意匠設計者が技術開発にも加われる面白さもあります。

そんな現状でも、CLTはいかに日本で定着できるのでしょうか。構造すべてをCLTとするピュアCLT工法よりも、CLTと鉄やコンクリートなどのハイブリッド構造により、素材を適材適所で使うこと大きな可能性を感じます。鉄骨造とCLT床版の組み合わせは相性がよくイギリスでも事例があり、国内でも今後CLT建築の一つの方向性となるのではないのでしょうか。



京都大学大学院  
工学研究科建築学専攻  
助教

小見山 陽介氏

現在の使いづらさは、これから実験データが蓄積されれば徐々に改善されるのではと期待します。私は2017年10月に設計事務所から京都大学に移り、じっくり時間をかけた研究開発に取り組みようになりました。こうした研究成果をもとに、設計家の方々がより魅力的なCLTの建築物を創り出し、CLTが日本に定着することを願っています。



【こうき-しん】

# 好木心

vol.35

## 木格子が美しい 静岡県富士山 世界遺産センター



写真=平井広行

2

2013年に世界文化遺産に登録された富士山。その自然、歴史、文化を後世に守り伝えるための拠点施設として2017年に開館したのが静岡県富士山世界遺産センターだ。

中心に位置する展示棟は、木格子まきこうしで覆われた逆円すい形のユニークなフォルムが特徴で、「逆さ富士」をイメージしてデザインされた。1階から5階をつなぐ螺旋状のスロープを登りながら展示ゾーンを巡り、来場者が富士登山を疑似体験できるようになっている。

木格子は富士山の南斜面で潤沢な太陽光と降雨に育まれた富士ヒノキ「フジヒノキメイド」を使用。火山灰土壌で育つ富士ヒノキは成長が緩やかで木目が細かく、強度があることから、削り出しに最適な材料として採用された。その丸太の数は約4385本にもものぼる。デザインに必要な曲線やひねりを出すため三次元加工機による削り出しで、丸太を約8000のピースに加工。緻密に計算された一つひとつ形の異なるピースは、約2カ月かけて現場で組み上げられた。

木格子は建物の内外に面しており、内と外で仕上がりが異なっている。建物外側は、耐久性を高めるため超耐候性木材撥水剤を塗布。内側は、角材に不燃加工を施した板材を四面に張ったピースを使用している。

展示棟前面には富士山からの湧水を引き込んだ水盤があり、建物が水面に映ると「富士山」の姿が現れる。富士山の秀麗な姿を模したその華麗な構図が来場者に感動を与えている。



# 注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

## 楽しさをキーワードに “珍味を極める” 老舗メーカー



代表取締役社長

山中 勸氏

本社 ● 兵庫県神戸市長田区野田町 8-5-14  
創業 ● 1955年  
資本金 ● 1,000万円  
従業員 ● 69名  
事業内容 ● 各種チルド・ドライ高級珍味の製造卸

# 株式会社 伍魚福

全従業員が楽しみながら参加する  
ヒット商品提案コンテスト

— 神戸市長田区に本社を構える伍魚福。多彩な食材を使い、酒の肴としても親しまれる珍味を手掛ける老舗メーカーだ。常時400種を超えるラインアップで日本全国の大酒酒店やスーパー、コンビニなど4000以上の店舗に販路を拡大している。

「当社の商品企画力を支えているのが、ヒット商品提案カード制度」という全従業員参加型の提案コンテストです。商品開発本部はありますが、その他の従業員も毎月、社員は2件、契約社員とパート社員にも1件以上のアイデアを出してもらっています。1件につき100円がもらえる仕組みですが、実は制度をつくった2008年当初は、あ

開発やプレゼンを、楽しく、やれる状況をつくる。これが継続のポイントであり、消費者に喜ばれる商品の誕生につながる。

営業マンは、お客様繁盛係、販売店の売り場提案も行う

— 商品開発の自由な発想を後押ししているのが、自社工場を持たないファブレス型のメーカーという点だ。

「当社の商品は全国2000の契約工場が生産されています。自社工場の場合、新商品の生産ライン新設には時間と投資が必要で、これが制約になってしまつてもあります。しかしファブレスなら、契約工場の中から最適な生産ラインをチョイスできる。新商品のアイデアをスピードで生産に移すことができ、多品種小ロットも可能です」

— 商品企画力とファブレスという強みを生かし、工場を持つ大手珍味メーカーとは異なる切り口で商品を展開する同社では、製造卸だけでなく売り場の提案も行ってきている。例えば、父の日にはお父さんの晩酌に最適な珍味を400種のラインアップから選りすぐりPR。バレンタインやクリスマスなどのイベントに合わせて商品を組み合わせ、売り場を提案していきけるのも強みだ。

「当社は50年以上前から酒屋を中心に珍

### ここが注目ポイント

「エンターテインメント」をキーワードに  
400種を超える珍味を販売

工場を持たないファブレス企業  
だからこそその自由な商品企画力

消費者の買う意欲を刺激する  
「コトPOP」を駆使した売り場づくり



商品を買ってもらいたい顧客層に合わせてつくられる「コトPOP」



POPのつくり方を紹介する広報誌「コトPOP研究所レポート」



商品化されなかった提案に、もう一度チャンスを与える「チームで熱い思いをプレゼン大会」



常時400種を超える珍味を販売。売り場づくりの提案も同社の強み

「現在では、毎月100件以上のアイデアが集まり、これを山中氏が14の切り口で評価していく。もっとも重要なのが「エンターテインメント」だ。珍味は見た目が地味であることが多い分、インパクトを与える楽しさが不可欠であるという。」

「神戸らしさをこだわって、会社のブランドイメージを高めるか、ターゲット層が明確かも重要です。多くの社員は商品開発を希望して入社しますが、全員をそこに配属できません。しかし、どこに配属されても商品開発に携われる仕組みがあるためモチベーションが高く、社長評価では落選したが、このアイデアは商品化すべき」という声もあるほど。そこで、いったんポツになったアイデアをグループごとにまとめてプレゼンする大会も年2回実施しています」

— 敗者復活のプレゼン大会は全社が活気づく一大イベント。部署の垣根を越えてチームをつくり、寸劇をするなど大いに盛り上がる。今では年間25万パックを売り上げる商品「フリーズチーズ生ハム包み」も、営業担当の女性社員のアイデアからプレゼン大会を経て生まれたものだ。社員が商品味を販売してきました。酒屋は面積の限られた珍味コーナーでいるいるな商品を扱うため、魅力的な売り場づくりがこだわっています。おいしさ、圧倒的な品ぞろえ、商品の包装デザインなどを工夫しながらコーナー全体の販促を提案することで、酒屋の要望に応えてきました。営業マンを、お客様繁盛係、と明確に位置付けており、自社商品を売り込むだけでなくスーパーなどがエンドユーザーに売るところまで含めて提案するのが私たちの役割と考えています」

— 売り場の工夫は他にもある。社内「コトPOP研究所」を設置し、商品の良さを伝えるPOPを売り場に提案。買う意欲を刺激する仕掛けだ。完売する商品が増えるなどスーパーなどでも大好評で、コトPOPに関する講義を頼まれることも増えてきたという。ノウハウや事例を紹介する専門の広報誌も発行しているほどだ。

「珍味を通して従業員が楽しく仕事をし、販売店が儲かり、消費者が楽しみ、会社が儲かるという好循環をつくっていききたい。様々な取り組みが評価され、企業としての知名度が上がり、CMなどのコストをかけずとも商品の認知につながるという効果も生まれています。今後も、消費者の未充足のニーズを見つけて、すばらしくおいしいものをつくり、お客様に喜ばれる商いをしたい」という当社の理念を追求していきたいです」

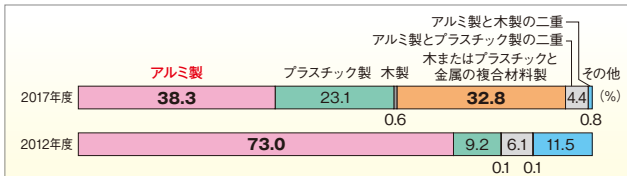


## 「フラット35」住宅仕様実態調査報告の概要 —住宅金融支援機構

2017年4月1日以降に「フラット35」の設計検査を受けた新築一戸建て住宅（木造軸組工法の住宅に限る）について実態調査が実施された（一部2016年4月以降も入る）。調査項目は住宅構造、基礎、耐久性仕様、木造住宅の仕様、外壁、断熱工事、屋根、省令準耐火構造、住宅性能表示制度など。2017年度の調査結果と主なポイントは次の通り（前回調査は2012年度）。

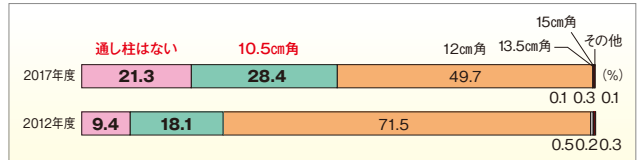
### 1. 窓サッシ枠

- 省エネ基準改正の影響により、「アルミ製」が大きく減少し、断熱性に優れた「プラスチック製」などのサッシ枠が急増し過半を占めた。中でも性能とコストバランスの良さから、「木またはプラスチックと金属の複合材料製」が特に増加した



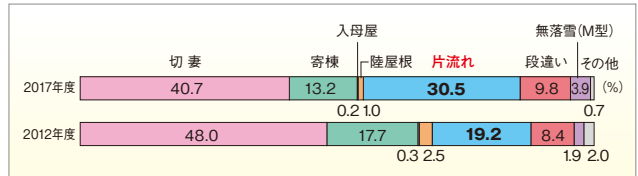
### 2. 通し柱の寸法

- 接合部金物の性能向上により「通し柱がない」が増加
- プレカットの普及に伴い、柱の寸法が画一化され、通し柱も他の柱と同寸の「10.5cm角」が増加



### 3. 屋根の形状

- 太陽光発電の普及により、設置しやすい形状の「片流れ」が増加。また片流れの増加は、外装材、外壁材の耐久性が高まったことも要因の一つ



## わが社のイチオシ

### インテリア商材の拡販を目指し 県内唯一のショールームを開設

当社が営業の拠点とする山口県内には、インテリア関連のショールームが数えるほどしかありません。家具やカーテン、照明といった施主様との打ち合わせは、カタログやサンプルで行っているのが現状です。インテリアに興味を持つ施主の方々は、福岡や東京まで出かけ、直接買われているのです。私どもは総合建材商社の1アイテムとしてインテリアを扱っていますが、お客様が満足するインテリア選びができない状況を解決するため、「Gallery 宇部」を



開設しました。ブランドメーカーの中高級家具類を展示し、さらに様々な色味の照明を体感できるライティングルーム、防音・吸音を備え臨場感を体感できるシアタールーム、カーテン打ち合わせルームなどをご用意し、具体的にインテリアに触れながら選んでいただいています。ギャラリーではインテリア専属スタッフが、来店者のご相談に対応しています。またギャラリー内には、取引先の各種申請や設計に関するサポートを行う「CADセンター」を併設。さらに当社が加盟する住活協の「住宅相談窓口じゅうmado」の事業として、一般消費者向けのセミナーやカルチャースクールなども開催しています。

株式会社 三和(山口県)  
取締役 営業本部長

森口 正寛さん



開設しました。

またギャラリー内には、取引先の各種申請や設計に関するサポートを行う「CADセンター」を併設。さらに当社が加盟する住活協の「住宅相談窓口じゅうmado」の事業として、一般消費者向けのセミナーやカルチャースクールなども開催しています。

あるきっかけで4月からスポーツクラブに通い始めました。通い始めてからまだ3カ月ですが、これまで最高新記録を更新し続けていた体重が、わずかながら減少傾向に転じてきました。習慣的に運動することの大切さを痛感します。スポーツクラブで汗を流した後に、家で飲むビールの味は格別です。ここにおつまみとして、伍魚福さんの「ピリ辛さきいか天」があると、さらにビールが進み、至福の時を迎えることができます。くれぐれもリバウンドには気をつけたいと思います。(E.K)

### 編集室より

- 弊社ホームページに特集ページのみを掲載中です。  
<http://sfc.jp/mokuzai/kenzaimonthly/>
- 広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は  
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。  
[kenzai-monthly@sfc.co.jp](mailto:kenzai-monthly@sfc.co.jp)

住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業企画部

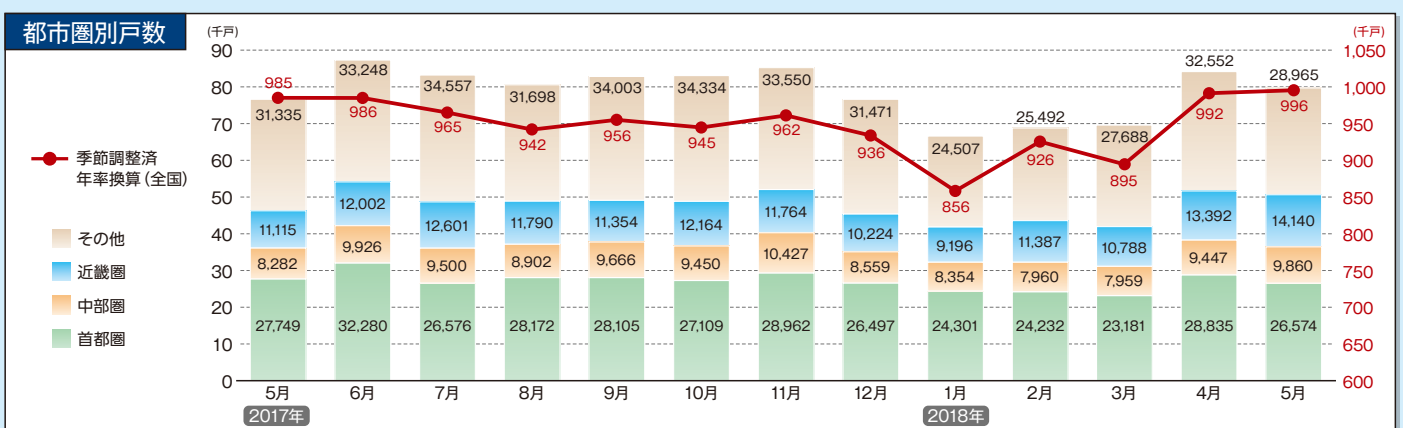
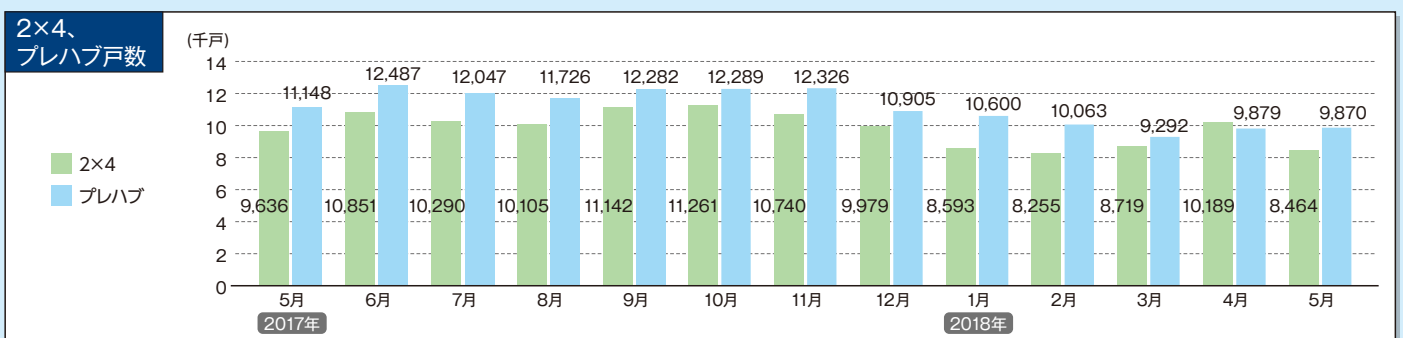
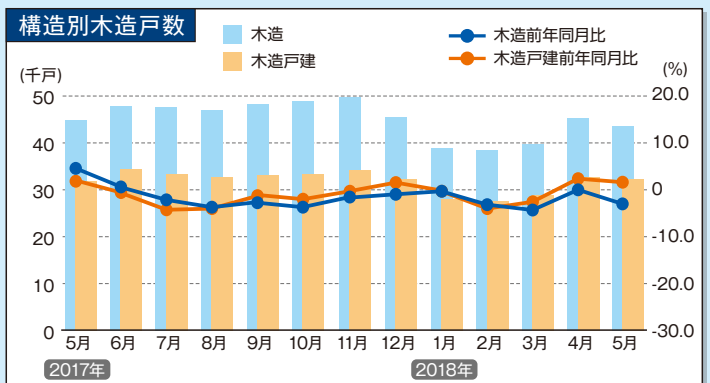
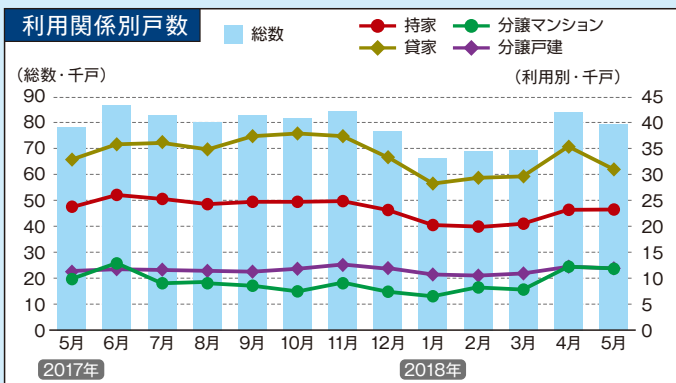
住友林業(株)住宅事業本部 群馬支店 伊勢崎住宅展示場

\* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

# 資料室

2018年5月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		5月					4月	3月	2月
		対前年同月比		対前々年同月比					
<b>新設住宅計</b>		<b>79,539</b>	<b>1,058</b>	<b>1.3%</b>	<b>811</b>	<b>1.0%</b>	<b>84,226</b>	<b>69,616</b>	<b>69,071</b>
建築主別	公共	1,070	144	15.6%	▲ 302	▲ 22.0%	1,604	1,269	1,583
	民間	78,469	914	1.2%	1,113	1.4%	82,622	68,347	67,488
利用関係別	持家	23,321	▲ 525	▲ 2.2%	▲ 180	▲ 0.8%	23,289	20,576	20,013
	貸家	31,083	▲ 1,873	▲ 5.7%	▲ 1,344	▲ 4.1%	35,447	29,750	29,420
	給与住宅	1,191	859	258.7%	604	102.9%	586	271	615
	分譲住宅	23,944	2,597	12.2%	1,731	7.8%	24,904	19,019	19,023
	うちマンション うち戸建	11,861 11,944	2,038 657	20.7% 5.8%	625 1,148	5.6% 10.6%	12,350 12,324	7,865 10,957	8,267 10,560
資金別	民間資金	72,040	1,489	2.1%	2,901	4.2%	74,747	62,543	61,512
	公的資金	7,499	▲ 431	▲ 5.4%	▲ 2,090	▲ 21.8%	9,479	7,073	7,559
	公営住宅	903	48	5.6%	▲ 256	▲ 22.1%	1,514	1,195	914
	住宅金融機構融資住宅	3,641	78	2.2%	▲ 394	▲ 9.8%	4,071	3,257	3,276
	都市再生機構建設住宅	18	12	200.0%	18	—	45	61	424
	その他住宅	2,937	▲ 569	▲ 16.2%	▲ 1,458	▲ 33.2%	3,849	2,560	2,945
構造別	木造	43,399	▲ 1,362	▲ 3.0%	605	1.4%	45,213	39,736	38,340
	非木造	36,140	2,420	7.2%	206	0.6%	39,013	29,880	30,731
	鉄骨鉄筋コンクリート造	803	557	226.4%	▲ 507	▲ 38.7%	857	86	592
	鉄筋コンクリート造	22,898	2,807	14.0%	1,195	5.5%	25,600	18,764	18,335
	鉄骨造	12,338	▲ 899	▲ 6.8%	▲ 422	▲ 3.3%	12,414	10,924	11,713
	コンクリートブロック造 その他	59 42	19 ▲ 64	47.5% ▲ 60.4%	1 ▲ 61	1.7% ▲ 59.2%	61 81	65 41	62 29



(出典：国土交通省ホームページ [http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku\\_list.html](http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html))



子どもたちも、先生も笑顔で安心して過ごせる  
空間づくりをEIDAIが創造します。



安全性

ケガを未然に防ぐ機能充実



利便性

子どもも大人も使いやすい



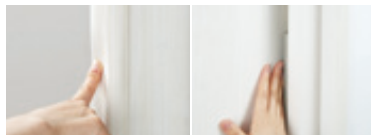
オーダー性

様々なご要望にお応えします



幼稚園や保育園といった園舎施設では、子どもたちはもちろん、先生方もいつでも笑顔で過ごせるように事故やケガの予防は欠かせません。EIDAIは総合建材メーカーとして長年培ったノウハウ、豊富な製品ラインナップから、子どもたちが過ごす空間で起こりうるケガのリスクを抑える製品を開発。安全性だけでなく、子どもたちを見守る大人への使いやすさにも配慮いたしました。園舎を、笑顔で過ごせる安心できる場所へ。

### EIDAIにだけの オリジナル安全部材



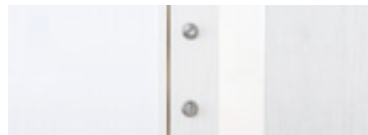
EIDAIオリジナル部材で  
指挟み・指詰めによるケガのリスクを低減

### 先生の負担を軽減できる アイテムをラインナップ



自動でロックがかかり開め忘れを防止(左)  
押すだけで簡単にロックが可能(右)

### ひとつひとつ違う 園舎づくりに柔軟に対応



チャイルドロックの位置変更や  
鍵の追加など柔軟に対応

## 室内ドア 幼稚園・保育園・認定こども園 収納家具 セーフケアプラス

**EIDAI** 永大産業株式会社  
www.eidai.com

お客様相談  
センター

☎ 0120-685-110 E-mail: cs@eidai-sangyo.co.jp  
[受付時間] 平日・土曜日 9:00~18:00 (休業日: 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始)

EIDAI

検索